

〈生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査〉

質問紙調査の結果(資料1)から、肯定的な回答の割合が高い項目をみると、「友だちとの約束を守っている」「学校で友だちに会うのは楽しい」「ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある」などの項目では、小学校6年生・中学校3年生ともに肯定的な回答の割合が非常に高くなっています。

資料1 <肯定的な回答の割合が高い項目>

肯定的な回答をした割合が高い項目 (主に小学校について割合が高いものを10項目選択)	肯定的な回答割合 (%)	
	小学校	中学校
朝食を毎日食べていますか	98.6	93.9
友だちとの約束を守っていますか	96.6	96.5
学校で友だちに会うのは楽しいと思いますか	95.9	95.6
家で学校の宿題をしていますか	95.9	88.6
ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがありますか	95.2	96.5
近所の人に会ったときは、あいさつをしていますか	93.2	87.7
学校のきまり(規則)を守っていますか	92.5	89.5
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	92.5	93.0
人の気持ちがわかる人間になりたいと思いますか	91.8	94.7
人の役に立つ人間になりたいと思いますか	91.8	92.1

中学校3年生では、「友だちとの約束を守っている」「ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある」の割合が最も高い反面、「家で学校の宿題をしている」の割合が小学校6年生と比べてかなり低くなっているのが特徴的です。また、「近所の人に会ったときは、あいさつをしている」の割合が、小学校6年生より中学校3年生が5ポイント以上低くなっています。

前回(平成22年度)の調査結果との比較(資料2)を見ると、小学校6年生では「自分には、良いところがある」「家の手伝いをしている」の割合が10ポイント近く高くなっています。中学校3年生では「将来の夢や目標を持っている」の割合が29ポイント、「今住んでいる地域の行事に参加している」の割合が10ポイント以上高くなっています。また、小学校6年生・中学校3年生ともに「家で学校の授業の予習をしている」「家で学校の授業の復習をしている」の割合が約5ポイントから約9ポイント低くなっていることから、学校や家庭、地域が連携をして、家庭学習を充実させる取組を早急に進める必要があると考えます。

資料2 <肯定的な回答割合の平成22年度との比較>

<小学校6年生>	肯定的な回答割合 (%)		
	H24	H22	前回との差
○自分には、良いところがあると思いますか	74.8	65.1	9.7
○家の手伝いをしていますか	76.9	67.8	9.1
○人の気持ちがわかる人間になりたいと思いますか	91.8	87.0	4.8
○学校のきまりを守っていますか	92.5	89.0	3.5
▲今住んでいる地域の行事に参加していますか	70.7	76.7	-6.0
▲家で学校の授業の予習をしていますか	40.1	45.9	-5.8
▲毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	85.7	90.4	-4.7
▲家で学校の授業の復習をしていますか	55.8	60.3	-4.5

「自分には、良いところがあると思う」の割合は、小学校6年生・中学校3年生ともに、7ポイント以上高くなっています。これは、平成22

<中学校3年生>	肯定的な回答割合 (%)		
	H24	H22	前回との差
○将来の夢や目標を持っていますか	80.7	51.7	29.0
○今住んでいる地域の行事に参加していますか	51.8	41.1	10.7
○人の気持ちがわかる人間になりたいと思いますか	94.7	86.1	8.6
○自分には、良いところがあると思いますか	71.1	63.6	7.5
▲家で学校の授業の予習をしていますか	14.0	22.5	-8.5
▲家で学校の授業の復習をしていますか	33.0	41.1	-8.1
▲学校で友だちに会うのは楽しいと思いますか	95.6	98.7	-3.1
▲朝食を毎日食べていますか	93.9	96.7	-2.8

年度の調査結果を踏まえ、キャリア教育など児童生徒の自己肯定感を高める取組がなされた成果だと言えます。

平成23年度は、東日本大震災の影響で全国学力・学習状況調査は実施しておりません。